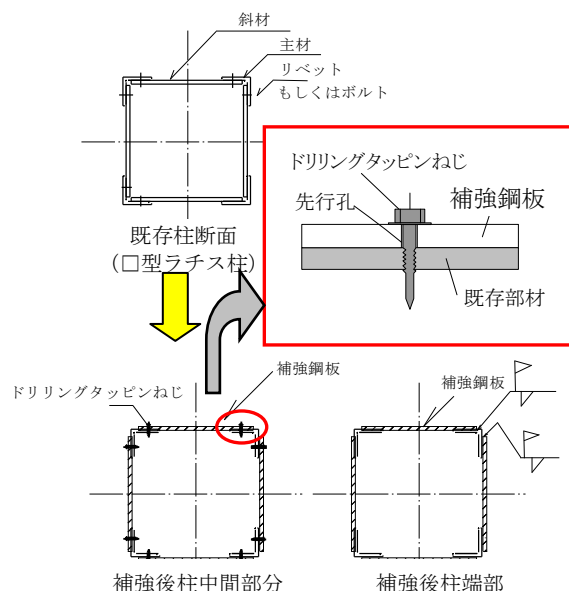


【技術の名称】 FSR-D 工法 ードリリングタッピンねじと補強鋼板を用いた 鉄骨ラチス柱耐震補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 07-06 号 性能証明発効日：2007 年 5 月 8 日 【取得者】 株式会社フジタ
---	---

【技術の概要】

本技術は、鉄骨造工場建屋等における組立てラチス柱の弦材形鋼に、ドリリングタッピンねじを用いて補強鋼板を接合して補強鉄骨柱を構築する耐震補強工法 (FSR-D 工法：Fujita Steel Reinforcing Method with Drilling Tapping Screws)である。ドリリングタッピンねじは、本工法設計・施工指針で規定したせん断強度を有するものとし、ドリリングタッピンねじによって既存の弦材形鋼と補強鋼板を接合する範囲は、弦材形鋼が降伏しない柱中央部に限定し、弦材形鋼が降伏する範囲は、弦材形鋼と補強鋼板を隅肉溶接で接合することになっている。また、補強鉄骨柱端部の補強鋼板と既存の柱梁接合部を現場で突合せ溶接によって接合し、補強鋼板が負担する力を既存の柱梁接合部に伝達することになっている。



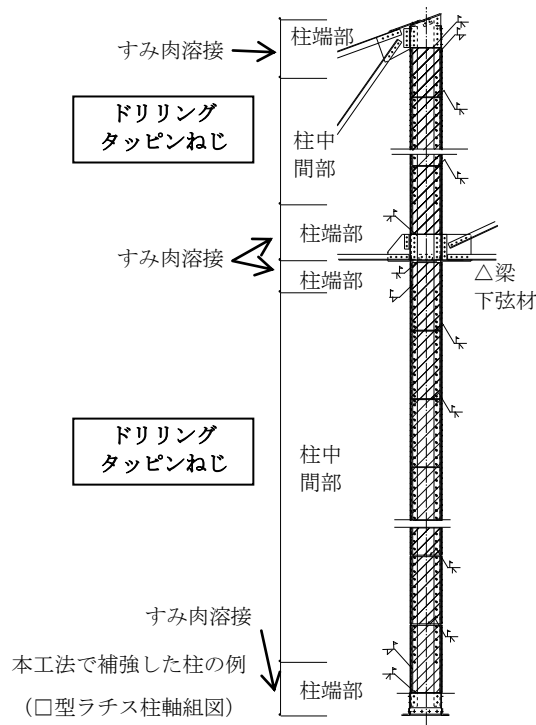
【技術開発の趣旨】

従来、鉄骨造建物の耐震補強工事において既存部材と補強材との接合に現場溶接を用いると、品質確保のみならず、現場工期や火災発生などについて種々の対策を講じる必要がある。本工法は、これらの問題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

本工法で用いるドリリングタッピンねじは、本工法設計・施工指針で定めるせん断強度を有し、本工法による補強鉄骨柱は、申込者提出の設計・施工指針で提示している終局耐力および変形性能 (耐震診断において用いる靱性指標 F 値) を有すると判断される。



【本技術の間合せ先】

株式会社フジタ 技術センター 担当者：佐々木 聡
〒243-0125 神奈川県厚木市小野 2025-1 TEL：046-250-7095

E-mail：ssasaki@fujita.co.jp
FAX：046-250-7139